

新型コロナウイルスが提起した課題

高橋 尚志 (大学教育基盤センター長)

1. はじめに

2020年は我が国にとって忘れ得ぬ年となった。言うまでもなくそれは新型コロナウイルスによってもたらされたものである。当初遠巻きに様子見していたのが、あれよあれよという間に感染が拡大し、3月初めから全国の小中高等学校などが一斉に休業するに至った。大学はどうだったかという、ほとんど授業は終わっていたものの、国立大学入試の後期日程が目前に迫り、卒業式を控えて非常に慌ただしい時期に来ていた。そこへ来てのコロナである。時々刻々と、それも悪い方向へ変化する状況に迅速に対応するために、本学では学長を本部長とし各部局長等および事務幹部から構成される危機対策本部を設置した。卒業式は中止を余儀なくされた。4月以降に改善されることが見込めなくなり、文科省は3月24日付けで全国の大学に発した通知で、対面授業（文科省は面接授業と呼んでいる）に拘らず、遠隔授業を取り入れること、学事暦についても半期15週の授業時数について柔軟な取扱いをしても良いことを発した。前後して遠隔授業のモデルケースをいくつか情報提供され、これを受けて大学は急速に遠隔シフトすることとなった。こうして始まったコロナ対応の時期にどう対応したかどういった課題があったのか、振り返っておこう。

2. 国と県の対策と香川大学

本学は言うまでもなく地方自治体に立地する国立大学法人であるため、公的な性格が強く国・文科省および立地する県市町とも連絡を密にしつつ地域の中心的な高等教育機関としての役割がある。国と文科省は、冒頭に触れたように急拡大する新型コロナウイルスの感染を防ぎながら学生の学びを止めないという基本方針を示しており、大学としてもそう対応することが求められた。同時に、人口100万人の香川県にとっては学生と教職員および家族あわせて1万人規模の本学は大きな影響を持つ存在であるため、県や市町との協力共同も必須であり、県内の状況を見据えつつ県の方針にも従いつつ、学生・教職員の生活と行動に注意を払いながら運営するという難しい舵取りが求められた。県が行動制限をさせると、それに準じて大学も学生および教職員に「新型コロナウイルス感染症への対応指針について」をその都度発出し、注意喚起を行った。（対応指針は12月末時点で、第16報に至っている。）

3. 遠隔授業を進めるための香川大学の取り組み

本学は前述の危機対策本部会議で、入学式を遠隔形式で行うことと新学期の授業スタートを4月17日にまで2週間先送りすることにして、その間学生とりわけ新入生には不便をかけることにはなるが、自宅に待機するよう要請した。従来の大学の授業は対面が基本となっており、むしろ行きすぎた遠隔授業にならぬように基準が示され制限がかけられていた。文科省は今年度については60単位を上限にしていたその遠隔授業の基準について特例的に制限しないという対応を取ることにして、遠隔授業を基本にするように促す動きが強かった。そのため、本学も含めて多くの大学では不慣れな遠隔授業を一気に導入することになった。

新学期のスタートとした日までに遠隔授業の準備を進めることとし、学生側の授業を受けるためのPCや通信環境等ハードウェアを整備するよう学生に依頼した。4月当初に行った調査によれば、9割を超える学生がオンライン授業を受けるための環境があることがわかったので、大学生協にも協力を仰ぎながら残る部分のPC等環境整備を進めた。本学では一部の学部を除いてPC必携化ができておらず、PC購入等を予定していなかった学生には経済的な負担をかけることとなり大変申し訳ないことであった。この課題について解決するために、PC必携化を来年度から実施することになった。

遠隔授業に対しての大学側の準備は、学生のそれに比べて遅れていた。まずどう遠隔授業を実施するのか、ほとんどの教員が経験の無いことであったため、当初大いに混乱した。かねてよりごく少数ではあったが利用されてきていたLMSであるMoodleを一つの柱とすることにした。旧総合情報センターと大学教育基盤センターでどうハンドリングしていくのかも明確になっていない状態であったため、大わらわの中ではあったが双方の教職員のボランティアでハード面でもソフト面でも使いうるようトライ&エラーよろしく、使う中で整備し、不具合があればまた修正し、その繰り返しの中でサービスを提供していった。この中で責任範囲も不明確だし役割分担もうまくできずにいたため、それらの明確化と組織改編を行い、大教センターにあったハードウェアにも一定責任を持つ旧ICT教育部は、全学と共通教育におけるソフト面の責任を負う数理情報・遠隔教育部へと進化した。

もう一つ柱としたのは、オンラインサービスである、Skype（本学ではKadypeと呼んでいる）とZoomである。Kadypeは既に契約済みであったがリスク管理の観点からも複数以上の選択肢を持つのが望ましいため、Zoomも包括契約を結んだ。比較的広く使われていたZoomもKadypeも、未だ多くの教員にとってはなじみがなかった。ほぼ2週間の期間しかなかったが、急ぎオンラインツールの使用法の勉強会FDを何度も行った。先進的に取り組んでいる例を、ビデオ教材にして学べるように教員へ提供した。とは言え、ずぶの素人であった者がすぐにオンライン授業を進めるというには準備期間が短すぎた。そのため、17日以降は可能な授業については進めてもらいつつ、大型連休の期間までに履修者と必ず連絡を取り通信環境の不具合がないか確認するということから始めてもらった。

学生との連絡は、本学が利用している教務システム DreamCampus からというルールを決めた。それはどの学生もどの教員も、DreamCampus には頻繁にアクセスするからである。学生の中には別のメールアドレスを登録したり変更したりするケースもあったようだが、連絡手段としてこれは概ね機能した。学生教員双方とも慣れてきたら Moodle で連絡を取り合うことなどもなされた。学生の適応力の高さには驚かされる。授業時数の問題が語られていたが、文科省は実質的な学修時間を確保することが重要で時間数を機械的にカウントすることはないとの見解を示したので、課題に取り組んでもらう等の措置で対応した。

本学ではクォーター制を導入しており、5月終わり頃には第2クォーターの心配をする時期となった。この頃には、一定の条件がクリアできるならば人の移動も含めてある程度自由度が増した。そこで、とりわけ対面でなければ効果の乏しい分野である実験などを中心に、授業提供の部局長の許可のもと、対面授業を第2クォーターから一部取り入れて行った。とは言え、多くの授業科目では「遠隔を基本に」としているため、安全重視で遠隔授業を行った。学部や分野の特性で多い少ないの違いはあるものの、この期間おおよそ2～3割程度は対面授業となった。

いわゆる感染第1波が収まりを見せたかと思われた時期には、遠隔授業のみを行う大学に世間からの批判的な目が向けられるようになった。小中高校生は楽しそうに登校しているのに、大学生はひたすら家に閉じこもり遠隔授業、学生やその家族らから不満の声が聞かれるようになった。文科省が大臣の発言および通知で、遠隔のみに頼るのは教育機関としての責任を果たし得ていない、創意工夫で対面と遠隔を上手く組み合わせて行け、というのである。まじめに遠隔授業に取り組んできた者としては、何を言い出すのやらという驚きと不満、そして感染拡大への不安があったが、一方で学生のケアの観点からは対面授業の効果は高いことも重々承知しているところであった。特に第2クォーターに入ってから対面授業を実施したところから上がってくる学生の感想には、ようやく先生と一緒に受講している仲間に会えて良かった、というのがあり、当たり前のことが当たり前でなくなっている現実に今更ながら気付かされた。こういうことから、夏休み明けの第3クォーターには遠隔を基本にという方針は踏襲しつつ、対面授業を取り入れていく工夫をして頂くよう授業者にはお願いをした。紆余曲折はあったものの、最終的には5割の授業科目で全部または一部対面を取り入れた授業を実施している。(後に、対面が5割に至っていない大学はその大学名に理由を付けて公表されている。文科省の対面重視の本気度に驚かされた。)

4. 教育機関として学生とどう向き合ったか

学生の学びを止めない、これを合い言葉に全国の大学がいろいろ苦労をしながら授業を進めてきている。本学も、上述の様に右往左往しつつも授業を実施してきた。しかしながら、教育機関である大学のもっとも重要な主人公、学生の事については大変心配していた。上で紹介した声の学生は、折角香川大学に入学したものの遠隔授業ばかりになってしまい、

入学式が終わった後に遠方の実家に帰ってしまった者であった。下宿・アパートにいて欲しい、感染予防の観点から移動しないで欲しいとは一般的にはお願いしたが、実際には対面で行う授業も無し、学部学科などの単位で行う合宿研修も無し、サークル活動もそもそも活動が無し、となると最早香川にいる必要は無いことになる。多くの学生が実家に戻ったようである。そうすると、やはりクラスメートと会う機会が絶たれたならば、学ぶことに不自由はないか、孤独に悩んでいやしないか、いろいろ心配になる。そういうこともあり、各学部には必修もしくはそれに準ずる科目があるので、それらの授業で学生のケアを特に心がけて頂くことにした。そして、彼らの状態をことあるごとに調査し、つかむ努力をした。そこから見えたのは、コロナ以前の我々の知る普段の様子とは大きく異なり、新たな環境下での大学での学びと学生対応を考えさせるものであった。

5. この特集では何を伝えたいのか

新型コロナウイルスが大学に提起したものは何だったのか、これにどう対処したのか、これを記録して次の時代に伝えるのが、本特集の役割である。大学に入学した学生がまず学ぶのは、大学教育基盤センターが提供する全学共通教育の各授業科目である。彼らが最初に大学生として学ぶ場での対応はどうだったのか、大きく遠隔教育に舵を切ったものの本当に条件は整っていたのか、遠隔をスタートさせて学生や教員はどう取り組んだのか、前期と第2クォーターを終えた時期に果たしてその間の学びは学生と教員にとってどうだったのか、いろいろ課題がありそれぞれに切り込む観点がある。この特集では、これらの諸課題について大学教育の最前線で関わった大教センターから見た活動と実態を報告する。

謝辞

学生および教員のアンケート調査を実施するに際して、香川大学の教務関係の業務を担う多くの教職員のご協力を得た。感謝申し上げます。また、5月実施のアンケート結果を解析にあたっては、香川大学教育学部の小方直幸氏に実際にデータに目を通していただき解析作業にご尽力いただいた。8月に実施したアンケートでは、構想段階から香川大学教育学部の青木高明氏のご協力を得て、産業技術総合研究所の河本達郎氏のご助力を得ながら同氏が開発されたクラスタリングアンケートを利用させていただいた。三氏のご助力無くしては学生および教員の実態を知り適切な手立てを講ずることが困難であったであろう。心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスに関する全学と大学教育基盤センターの対応表（2020.1.31～2020.9.30）

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/1/31(金)	新型コロナウイルス関連肺炎の発生について【注意喚起：第1報】※以下、「注意喚起：第〇報」と表示			
2020/2/5(水)	【注意喚起：第2報】			
2020/2/13(木)	【注意喚起：第3報】			
2020/2/17(月)	【注意喚起：第4報】	卒業式・入学式は挙行		
2020/2/28(金)	第1回危機対策本部会議	・合格発表方法の変更(掲示→Webのみ) ・香川大学主催の不特定多数が集まるイベントは、原則中止とし、本学以外の主催イベント等への学生及び教職員の参加については、原則自粛を要請。	全学FDは中止（3/3(火)「FDスキルアップ講座（大学入門ゼミ関連）」、3/6(金)「FDRI教育に関するFD」中止）	能力開発部
	新型コロナウイルス関連肺炎の発生対応の指針について【注意喚起：第5報】			
2020/3/3(火)	第2回危機対策本部会議	・卒業式・修了式は中止（HP公表） ・ゼミ等の集まりにおいても飲食を伴う行事等について自粛を要請。		
2020/3/4(水)			全学共通科目ガイダンス 遠隔配信（録画）検討開始	共通教育部
2020/3/16(月)	第3回危機対策本部会議	・学部、大学院入学式は各学部・研究科において分散・縮小したうえで、同時挙行する。(動画配信3/18(水)HP公表) ・新入生全員に、2～3月の海外渡航歴と、感染者との濃厚接触がなかったかの事前調査を実施し、入学式前2週間以内の帰国者及び濃厚接触申告があった学生には、入学式への出席を自粛するように、事前通知を行う。 ・授業開始時期については、当初スケジュールどおり4月1週目からスタートすることとし、新入生ガイダンスについても、授業開始に合わせて実施する。		
2020/3/17(火)	新型コロナウイルス感染への対応指針について【注意喚起：第6報】※以下、「注意喚起：第〇報」と表示			
2020/3/18(水)			全学共通科目ガイダンス 事前にビデオ撮影したものを各学部配布決定	共通教育部
2020/3/25(水)	第4回危機対策本部会議	【入学後新入生用行事予定】 ・ガイダンスは予定どおり4/3(金)から実施 ・可能な限り事前収録した録画データを各学部・研究科へ提供する方向で検討する。 【出席停止】 ・新型コロナウイルス疑いの出席停止→公欠 【イベント】 ・大学主催イベントの開催及び学外イベントへの学生、教職員の参加については、5月ゴールデンウィーク明けまで中止	履修登録定員の設定人数を検討（教室定員よりも減らす）8割程度とする。	共通教育部
2020/3/26(木)	【注意喚起：第7報】			
2020/3/27(金)	【教育担当理事通知】 令和2年4月以降の授業の対応について	・令和2年4月以降の授業（講義・演習等）は原則通常どおり行う。学外実習等は個別対応 ・新型コロナウイルスに係る出席停止は「特別な事由による欠席」扱い。欠席した学生について授業の代替措置等の配慮を要請。		
2020/3/30(月)	第5回危機対策本部会議	・ガイダンスは予定どおり4/3(金)から実施 ・医学部以外の学部及び研究科の授業開始については、4/10(金)から4/17(金)に変更 ・履修登録期間を4/15(水)に延長	新入生修学相談は予定どおり実施(4/7(火)～/9(木))とする。相談日以降は修学支援グループ及び各学部窓口で相談を受ける。(全学部に参加予定を再確認)	共通教育部
			主題C「瀬戸内国際芸術祭とマイノリティ問題」後期開講に変更。(フィールドワークの実施が困難なため)その他の科目についても、最適な対応を前例にとらわれることなく極力柔軟に行うこととした。	共通教育部
			授業の定員を教室定員の7割程度とする。	共通教育部
			新任教員研修会4/8(水)は中止 プログラム内容に変更せず、4/16(木)に延期で調整開始(原則出席が必要だが、真にやむを得ない事情で欠席する場合は、ビデオ閲覧のうえレポート提出を認める。)	能力開発部
2020/3/31(火)	【学長通知】 令和2年度新学期の授業開始延期について	・入学式は4/3(金)、授業開始は4/10(金)から4/17(金)に変更 ・全学生に2週間の体調管理期間を設ける。	全学FD「香川大学Moodleの使い方(初級編)」開催	ICT教育部

香 川 大 学 教 育 研 究

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/4/1(水)	第6回危機対策本部会議	・入学式は4/3(金)、ガイダンスも4/3(金)から実施 ・医学部医学科以外の学部及び研究科の授業開始は4/17(金) ・医学部医学科の授業開始時期については、医学部の方針による。	【大学教育基盤センター長、共通教育部長通知】 令和2年度新学期の授業開始延期等、新型コロナウイルス感染防止措置について 1.新学期の授業開始延期措置等の学事歴の重要な変更について ・入学式、ガイダンスは感染対策を徹底したうえで学部・研究科別に実施 ・履修登録期間を一週間延長 ・第1Qは6.5回、前期は14回 2.授業で留意すべき新型コロナウイルス感染防止対策について ・授業の定員を通常より少なく、原則として教室定員の7割以下と設定する 3.新型コロナウイルス対応により出席停止となった学生への措置 ※教室定員は、その後5割と設定した。	共通教育部
	在学生履修登録開始			
2020/4/2(木)			・第1回TOEICテスト(7月開催)中止 ・全学共通科目「Communicative English I」はTOEIC-IPの結果を成績評価に含まずに対応することとした。	国際教育部 TOEIC運営委員会
2020/4/2(木)			新任教員研修会は4/16(木)開催決定	能力開発部
2020/4/3(金)	入学式 新入生ガイダンス(～4/6)	事前にビデオ収録 後日、Moodleにも掲載		
	新入生アンケート	自宅でのPC等利用・Wi-Fi環境調査(紙に記載し、OCR処理) ・自宅でのPC・タブレットの有無 ・スマホの有無 ・Wi-Fi環境の有無		
	新入生履修登録開始			
2020/4/6(月)	新入生ガイダンス	事前にビデオ収録。後日、Moodleにも掲載	新任教員研修会4/16(木)はグループワークを行わず、スリム化することで全体の時間を短縮することとした。	能力開発部
2020/4/7(火)	第1回遠隔講義導入WG			
2020/4/7(火)～ 4/9(木)			新入生学相談	共通教育部
2020/4/10(金)	第2回遠隔講義導入WG			
	【香川県】授業開始延期等の協力依頼 第1回 大学の情報化に関するFD・SD	県立学校において、4/13(月)～24(金)の2週間を臨時休業期間 新教職員メールアドレス@kagawa-u (アットカガウユー)と新遠隔会議サービスKadype(カダイプ)について 主催:総合情報センター		
2020/4/13(月)	第7回危機対策本部会議	・授業は4/17(金)からの開始とするが、4/17(金)～6/17(水)は原則対面授業を行わない。 ・5/7日(木)からオンライン授業を開始するが、4/17(金)～5/6(水)は、「自宅学習及び遠隔講義準備期間」として、オンライン授業への準備期間とし、学生は自宅においてオンライン授業開始に向けた事前学習およびネット環境等の整備を行う。 ・活動を停止できない実習科目等については、学部長・研究科長の判断をもって実施する。 ・ネット環境が準備できない学生については、3密の状況を回避した状況で、学内PCルーム、講義室でWiFiの利用可能。 ・学生の県外移動制限について	英語 (Communicative English I) は、共通の授業計画を作成し、全科目Moodleコースを作成することとなった。 ・第1クォーター科目は、原則として定員を例年の通りの設定に戻した。 ・前期科目、第2クォーター科目は引き続き「人の密集」の緩和のための措置を継続。(教室定員の5割)	国際教育部 臨時外国語実施部会 共通教育部
	Zoomトライアルライセンス付与、トライアルサイトにて検証開始			
2020/4/14(火)	【注意喚起：第8報】			
	【学長通知】 令和2年度新学期(第1クォーター)の授業方法の変更について 【緊急要請】 -すべての授業科目をオンラインで実施-	・授業開始日は4/17(金)、第1クォーター((4/17(金)～6/17(水))は、授業を「遠隔」で実施、対面授業は行わない。 ・4/17(金)から5/6日(水)までの3週間を「トライアル期間」とし、準備ができた科目から順次スタートする。 ・「トライアル期間」は、課題等に取り組むとともに、遠隔講義の準備(ノートパソコンやタブレット端末の購入、Wi-Fi環境等の準備) ・遠隔講義に関するガイダンスの実施方法は別途ホームページ及びメールにてお知らせ		

新型コロナウイルスに関する全学と大学教育基盤センターの対応表 (2020.1.31 ~ 2020.9.30)

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/4/14(火)	【学長通知】 令和2年度前期授業等の実施に係る方針について	・講義科目は、対面授業は行わず、オンラインによる遠隔講義とする。 ・授業開始日は4/17日(金)とするが、4/17(金)～5/6(水)の3週間は「自宅学習及び遠隔講義準備期間」とする。 ・「自宅学習及び遠隔講義準備期間」、学生は、授業担当教員から「ドリームキャンパス」から出された課題等に取り組みとともに、自宅におけるインターネット環境等を整備する。 ・実験・実習科目等は、6/17(水)までは行わない。但し、活動を停止できない実験・実習科目等については、学部長・研究科長の判断を持って実施することができる。 ・遠隔講義実施要項		
	【学長通知】 新型コロナウイルス感染拡大予防に係る県外への移動制限について	緊急事態宣言が解除されるまでは、県外への不要不急の移動は控える 感染拡大地域※（北海道、東京、埼玉、千葉、神奈川県、石川、愛知、岐阜、三重、京都、大阪、兵庫、福岡：通知日時点）への往来は原則禁止		
	オンライン授業サイト@香川大学運用開始 【香川県】独自の緊急事態宣言			
2020/4/15(水)	履修登録締切		【共通教育部長通知】 第1クォーター科目の定員の設定について ・第1クォーター科目は、例年の通り ・前期科目、第2クォーター科目は教室定員の5割	共通教育部
2020/4/16(木)	【理事（教育担当）通知】 遠隔講義の実施に伴う準備事項等について (学生向けオンライン授業ガイダンス)	学生が身に付けておくスキルや準備すべき事項等を授業開始(4/17(金))までに確認依頼（医学部開設科目は除く） 準備事項等の説明は、教務システムを通じて案内	【大学教育基盤センター長通知】 Moodleへの映像コンテンツのアップロードについて ・サーバ容量の逼迫のため、動画ファイルのMoodleへの映像コンテンツはアップロードを待つよう依頼	ICT教育部
		遠隔講義の実施に伴う準備事項等の新入生及び在学生への周知方法 ・ホームページと一斉メールで教務システムへのログインを誘導 ・教務システムログイン後の学生ページに香川大学Moodleへのログインを誘導するメッセージを掲載 ・香川大学Moodleに詳細説明を掲載	履修についての特別措置 履修定員を教室定員の5割としたことにより、抽選漏れが多数生じた。 ・1年次で全学共通科目の修得が求められる医学部生で前期に学問基礎科目がまったく履修できなかった。 ・創造工学部で学部推奨科目が履修できなかった。 担当教員に前期中の遠隔授業を依頼し、追加登録した。また、受講希望が多かった「心理学D」は教員の申し出により後期に追加開講することになった。	共通教育部
			新任教員研修会： 対面で開催。午後の部はグループワークを省略することで予定よりも早くプログラムを終了。	能力開発部
2020/4/17(金)	第8回危機対策本部会議	・教職員、学生ともに県外への移動は禁止とする。		
	第3回遠隔講義導入WG			
	遠隔ガイダンス(Zoom)への不正アクセス発生 Moodle内に「オンライン授業ガイダンス(学生向け)」公開			
2020/4/20(月)	[注意喚起：第9報]		大学入門ゼミの一部について開講時限変更 対面授業ができるようになった場合に備えて、広い講義室を確保するため。	共通教育部
2020/4/21(火)	【香川県】 新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言対象地域拡大に伴う協力依頼 Moodle内に「オンライン授業ガイドQ&A」公開	県立学校において、5/8(金)まで臨時休業期間を延長		
	【香川県】 緊急事態宣言	大学に対しても休業要請		
2020/4/22(水)	全学教務委員会（臨時）			
	学生の情報環境等調査（～5/1）	各学部にて電話・メールなどで悉皆調査		
2020/4/23(木)	第9回危機対策本部会議	・4/25(土)から5/6(水)までの間、臨時休業（医学部及び附属病院を除く）とする。 ・学生相談体制は、電話及びメールで受ける体制とする。 ・休業期間中の遠隔授業の試行はそのまま継続するものとする。 ・図書館、博物館、総合情報センターについては、5/6(水)まで閉館 ・教職員は、原則、自宅待機（在宅勤務） ・ただし、事業場内での勤務が必要な場合は、出勤可能		

香 川 大 学 教 育 研 究

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/4/24(金)	遠隔講義システム(Zoom)のアカウント提供(医学部・非常勤講師以外)	・[配布開始～2020/5/31] (トライアルライセンスの条件で提供) 100人同時接続 ・[2020/6/1～(6/1 から 1 年間)] (本契約としての提供) 300人同時接続	【大学教育基盤センター長通知】 Moodleへの映像コンテンツのアップロード 全学共通科目のMoodleの映像コンテンツアップロードできる体制が整った旨通知	ICT教育部
	【理事(教育担当)通知】 臨時休業に伴う遠隔授業の進め方について	・臨時休業による第1クォーターおよび第1セメスターの期間の変更はない ・ネット接続環境の無い学生トライアル期間中の授業に関する配慮依頼 ・5/7(木)を遠隔授業のスタート日としているが間に合わない場合は、5/14(木)からスタートしてもよい。	全学共通科目のMoodleのAzureアップロード作業開始	ICT教育部
2020/4/25(土)			香川大学Moodleの緊急メンテナンス CPU 2Core →12Core, メモリ 14GB →16GB 増強	ICT教育部
2020/4/27(月)	遠隔講義システム(Zoom)のアカウント提供(医学部・非常勤講師)			
2020年4月27日(月) ～5月1日(金)	臨時休業	臨時休業期間中の授業、奨学金、就職、心理相談等学生相談体制 ・電話及びメール。 ・教育・学生支援部の関係グループ、保健管理センター、キャリア支援センター・各学部・研究科の学務系事務 ・相談窓口の連絡先(電話番号、メールアドレス)は、教務システムを通じて案内 ・事務職員は交代制勤務により必要最低限の人員を配置		
2020/5/5(火)	【香川県】緊急事態宣言の期間延長			
2020/5/6(水)	第10回危機対策本部会議	・遠隔講義の受講にあたり、PC ルーム、一部講義室等の利用を認める ・実習授業については、医学部以外は第1クォーターでは実施せず、第2クォーターからの開始に向けて準備を進める。		
	新型コロナウイルス感染症への対応指針について [注意喚起：第10報] ※以下、「注意喚起：第〇報」と表示			
2020/5/11(月)			幸町北キャンパスの主な講義室に手指消毒液を設置	共通教育部
2020/5/13(水)			全学共通担当教員へオンライン授業ツールの使用に関する情報を周知 オンライン授業ツールのまとめ (Dream Campus、Moodle、Kadype、Zoom)	共通教育部
			全学FD：授業目的公衆送信補償金制度について	能力開発部
2020/5/18(月)			香川大学Moodle緊急メンテナンス セッション数(Apache、MySQL)を 500 → 1000 別の仮想基盤に仮想マシンを移動 CPU 16core、メモリ32GB増強	ICT教育部
2020/5/19(火)	第11回危機対策本部会議	対面型授業再開に向けての検討		
	[注意喚起：第11報]			
2020/5/20(水)			FDワークショップ開催方法についての打合せ ・おおよその実施方法を固める。 ・グループ毎に部屋を用意する。	能力開発部
2020/5/22(金)	遠隔講義に関するアンケート (～6/2)			
2020/5/27(水)			第2クォーター授業実施について ・講義科目は、遠隔授業が基本となったため、従来通り定員は教室定員の95%とする予定。 (※6/3に学生の安全のため、試験定員とすることとした。)	共通教育部
			第1回(拡大)調査研究部会議 コロナに起因する問題について学生と教員を対象に調査するアンケートの作成が提案された。	調査研究部
2020/5/28(木)	第12回危機対策本部会議	第2クォーター以降の授業実施にかかる基本方針 ・講義科目は引き続きオンライン等による遠隔講義 ・実験・実習科目等は、感染防止対策を徹底したうえで、実施可能なものから対面型授業を開始する。 ・可能な範囲で対面型の試験を実施する。	【大学教育基盤センター長通知】 香川大学Moodleの不具合について ・香川大学 Moodle 約50分停止 セッション数1000→1500 ストレージ枯渇 バックアップファイル削除の協力依頼	ICT教育部

新型コロナウイルスに関する全学と大学教育基盤センターの対応表 (2020. 1. 31 ~ 2020. 9. 30)

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/5/29(金)	【学長通知】 令和2年度第2クォーターの授業について(学生宛)	・講義科目は引き続きオンライン等による遠隔講義 ・実験・実習科目等は必要度の高いものから対面授業開始。		
	【理事(教育担当)通知】 令和2年度第2クォーターの授業実施に係る基本方針の取扱いについて(教員宛)	実験・実習科目等の授業担当教員は、6/18(木)以降の実験・実習科目等の実施方法を、6/3(水)までに授業開設部局の事務担当(学務係又は修学支援グループ)へ連絡	第2クォーターについて実験・実習について一部対面が許可されたため、主題C実践についてフィールドワーク実施予定を確認	地域教育部
2020/5/30(土)			香川大学Moodle緊急メンテナンス ストレージ 500GB → 2TB 増強	ICT教育部
2020/6/1(月)	[注意喚起: 第12報]			
	Zoom本契約完了 運用開始			
2020/6/4(木)			全学共通科目第2クォーター対面授業実施科目について(学生宛) 対面を実施する科目について調査後、学生へ教務システムを通じて周知	共通教育部
2020/6/5(金)	第2クォーターの対面型で実施する授業科目について	全学の該当授業科目を学生に周知	第1回地域教育部会議及び主題C実施部会合同会議 ・主題C実践科目について、フィールドワーク等のように実施または実施予定か情報共有した。 ・公用車利用について一定の方針を決める予定であると周知。	地域教育部
2020/6/8(月)			授業公開実施(大学入門ゼミ) Kadype、Zoomを併用した遠隔授業で授業公開を行った。	調査研究部
2020/6/9(火)			【共通教育部長通知】 全学共通教育講義科目における対面型授業の実施基準について ・講義科目についても、一部授業回について、実験・実習等のために対面授業の実施が必要な場合、届出をするようにメールにて依頼。 ・学生へは教員からドリームキャンパスを通じて授業実施1週間前までに連絡すること。	共通教育部
2020/6/12(金)	第13回危機対策本部会議	・夏季休業期間中(8/6~9/30)に行われる講義、学内実習等については、5/29(金)に定めた基本方針に準じる。 ・9月までの入試については、イベント等の開催条件を満たす場合、来学による入試を実施するものとし、実施の際は感染予防対策を講じる。 ・Webオープンキャンパスを予定		
2020/6/15(月)			フィールドワーク実施に関して公用車利用についての問い合わせ(6/2)に対し、「公用車等の3密回避について」を策定 共通教育部長及び地域教育部長で相談し、共通教育委員会に報告し、基準を設定後、通知した。 (以下一部抜粋) ・横3人にならないように(横2人まで)乗車する。 ・必ずマスクを着用する。 ・窓を2センチ程度開ける(全開よりも空気が強く流れ換気される)。 ・空調を「外気取り入れ」側に設定(「車内循環」でない方を選択)。 ・車の内部をなるべく触らない。など	共通教育部 地域教育部
2020/6/17(水)			一部対面授業開始に伴い、教室の設備点検実施 ・第2クォーター開始前までに、すべての教室及び5号館入り口に手指消毒液を設置。また、各教室にOAタップを設置。	共通教育部
2020/6/18(木)			対面授業実施における換気について(情報共有) ・対面授業を実施する予定教員へ、熱中症予防をしつつ換気をする際の、効果的な換気方法について周知した。	共通教育部
2020/6/19(金)	[注意喚起: 第13報]			
	第2回 大学の情報化に関するFD・SD	香川大学コミュニケーション支援サービス Kadams (Microsoft Teams) の教育/研究における活用 主催: 総合情報センター		
2020/6/22(月)			非接触型体温計を購入 ・貸し出せる旨をフィールドワーク実施予定の教員へ周知	地域教育部
			ICT教育部会議 ・香川大学Moodleの運用、Zoomの運用、遠隔講義のサポート態勢について協議	ICT教育部

香川大学教育研究

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/6/24(水)			全学FD:オンライン授業における実践例の報告(Kadype・Zoom)	能力開発部
2020/6/26(金)			全学FD:ZoomとMoodleを組み合わせたアクティブラーニング型授業	能力開発部
2020/7/1(水)			遠隔授業に関するアンケートについての打ち合わせ ・学生と教員を対象としたアンケートの調査方法や質問内容等確定。	調査研究部
			全学共通外国語教員用FD① ・全学共通科目外国語担当教員対象の遠隔講義に関するFD	国際教育部
2020/7/6(月)			香川大学Moodle緊急メンテナンス	教理情報・遠隔教育部 (ICT教育部)
2020/7/9(木)			(拡大) 調査研究部会議メール審議 (~7/13) ・教育戦略室から大学教育基盤センターへアンケート実施依頼があり、調査研究部で遠隔授業実態調査のためのアンケートを実施することを承認。	調査研究部
2020/7/10(金)			授業公開実施 (学問基礎科目) ・Zoomを用いた遠隔授業で授業公開実施	調査研究部
2020/7/16(木)			全学共通外国語教員用FD② ・隔講義ツール「Zoom」の基本的な使い方	国際教育部
2020/7/17(金)			(拡大) 調査研究部会議メール審議 (~7/21) ・アンケートの実施方法について承認。	調査研究部
2020/7/22(水)	第14回危機対策本部会議	・第2クォーター及び前期の授業実施方針は現状維持 ・第2クォーター及び前期末定期試験について、対面型の筆記試験を拒否する学生の取り扱い、部局長 (大教センター長を含む) の判断による。 ・夏季休業期間中に行われる講義、学外実習等は第2クォーターの方針に準ずる。 ・第3クォーター及び後期の授業実施方針は第2クォーターの方針を継続することを暫定案とする。		
	[注意喚起: 第14報]			
2020/7/24(金)			対面型試験を実施する科目について試験を拒否、懸念を示した学生への対応について通知 ・担当教員の判断に委ねる	共通教育部
2020/7/28(火)			第2回共通教育委員会 定期試験について、以下の取り扱いとすることを委員へ説明した。 ・対面で実施する定期試験について、学生が新型コロナウイルス感染防止のため試験出席に難色を示した場合は、学生と担当教員が直接話し合っ、理由等を考慮して担当教員が判断する。	共通教育部
2020/7/30(木)	【学長通知】 令和2年度第2学期の授業実施方針について(予告)	・第2学期の授業実施方針は第2クォーターの授業形態を継続する予定。 ・夏季休業中に実施する集中講義は第2クォーターの授業形態で実施する。 ・学外実習等は、最新の国及び県の方針、並びに受入機関との調整に基づいて実施する。		
2020/8/5(水)			遠隔授業に関するアンケート(教員・学生) (~8/19)	調査研究部
2020/8/14(金) ~ 8/25 (火)			香川大学Moodle緊急メンテナンス	教理情報・遠隔教育部 (ICT教育部)

新型コロナウイルスに関する全学と大学教育基盤センターの対応表 (2020.1.31 ~ 2020.9.30)

年月日	全学		大学教育基盤センター	
	通知タイトル・行事	学生等対応内容	対応内容	対応部等
2020/9/3(木)	第15回危機対策本部会議	<p>令和2年度後期の授業実施方針（前期からの主な変更点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業形態について ・講義型科目の方針 原則オンラインとする。→ オンラインを基本とする。 ・実験・実習科目の方針 感染防止に留意して対面で実施可 → 変更なし 英語等の語学を実験・実習科目に含める。 ・部局長の判断基準を若干緩和 「少人数で行われる講義等（大学院科目等）」→ 「少人数で行われる講義等」 ●感染防止対策 ・健康チェックシートに日々の健康状況を記録させる。 （対面授業の教員・学生） ・帰省学生等は、可能な限り授業開始等の14日前までに帰省することを依頼 ・帰省学生等は、帰省後2週間の行動記録を取らせる。 ・対面授業の際は、出席管理を厳密に行う。（濃厚接触者の追跡調査用） ●その他 ・個々の授業の実施方法（対面、オンラインの別）を履修登録期間（9/17～9/24）の前日までに周知する。 ・コロナ接触確認アプリ（COCOA）のインストールを依頼。 	<p>全学共通科目・学問基礎科目の後期履修について（履修についての特別措置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学部4年生以上及び医学部生で後期の学問基礎科目の単位取得が卒業・進級に関わる学生に限り、卒業要件単位の不足単位分について希望があれば抽選せず受講措置をとることを各学部学務係へ連絡。 創造工学部・経済学部を除く学部から希望があり、対象者について履修登録を実施した。 	共通教育部
2020/9/4(金)	<p>【学長通知】 令和2年度第2学期(第3・第4クォーター)の授業実施に係る基本方針について</p> <p>【理事（教育担当）通知】(教員向け) 令和2年度第2学期(第3・第4クォーター)の授業実施に係る基本方針の取扱いについて</p> <p>【学長通知】(学生向け) 令和2年度第2学期(第3・第4クォーター)の授業実施</p>	<p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は遠隔講義を基本とする。 ・一部の講義科目、実験・実習科目等は感染防止対策を徹底したうえで対面授業を実施する。 ・ライブ配信または講義収録を講義室で行う場合は、入室制限等一定条件のもと、授業担当教員が許可できる。 ・試験は可能な範囲で対面での試験を実施する。 <p>・実験・実習科目等の実施方法を事務担当へ連絡。特定回のみ対面実施の場合は、教務システムで連絡。</p> <p>・学生の入室許可の条件等</p> <p>対面で実施する科目は9月16日(水)までに教務システムで周知。</p>		
2020/9/9(水)			12月TOEIC実施の決定。例年通りの実施とする。当日受けられない学生は、カレッジTOEICを1月に受験。コロナの影響等でどうしても受けられなかった学生については、不可とはしないこととする。（学生には受験必須のままで周知）	英語担当事務会議
2020/9/14(月)～9/15(火)			新任教員研修会：よりよい授業のためのFDワークショップ当初の予定どおり対面で実施。感染対策としてグループワーク用にグループ毎の部屋を用意する、参加者同士を区切る仕切りを用意する等した。	能力開発部
2020/9/16(水)			TOEIC振込用紙について、1年次は生協が郵送にて送付。（生協未加入者も生協から郵送してもらおう住所シールを修学で作成）希望届を窓口で提出していない再履修者には、修学支援窓口または生協にて受渡。	国際教育部 TOEIC運営委員会
2020/9/18(金)	【注意喚起：第15報】			
2020/9/23(水)			数理情報・遠隔教育部会議 ・次年度のノートパソコン必携化について協議	数理情報・遠隔教育部 （ICT教育部）
2020/9/24(木)～25(金)			FDスキルアップ講座： ・感染対策のため対面ではなくオンラインで開催。	能力開発部
2020/9/30(水)			全学教務委員会で遠隔授業に関するアンケートの結果を報告。	調査研究部

(修学支援グループまとめ)